



平成22年9月22日

第4回高校生理科研究発表会の開催について（ご案内）

千葉大学では科学技術分野の革新的教育改革を目標に、高等学校との連携によるさまざまな活動を実施しております。

標記の行事もこの一環として実施しており第4回目となります。

この発表会は、県内外の高校生が行うもので、授業、クラブ、個人など様々なきっかけで始めた、アイデアいっぱいの研究を、ポスター形式で披露するものです。今年度は、茨城や埼玉などの関東近県のほか、遠くは青森、福島の高校からも参加いたします。また、発表数も回を追うごとに増加し、今年度は昨年度よりも12件増の130件となっております。

大判のポスターを前にして高校生が自分たちの研究を説明しますので、審査員だけでなく、来場者も自由に質問できます。未来の科学者たちが、科学の謎解きに挑戦する活気に満ちた姿を、県民の皆様方にも是非ご覧いただきたいと思っております。

なお、発表関係者・見学者等で約700名の発表会になることが予想されます。当日は是非、取材にお越し下さるようご案内いたします。

記

- 1 主旨 高校と大学の協力により理数教育の充実・向上を目指し、高校生学力の育成を図る
- 2 主催 千葉大学
- 3 共催 千葉県教育委員会
- 4 後援 文部科学省・千葉市・千葉市教育委員会・科学技術振興機構・朝日新聞社・日本理化学協会
- 5 開催日時 平成22年9月25日（土）9：00～
- 6 開催場所 千葉大学西千葉キャンパス けやき会館

〔参考資料〕

- 1 発表会の概要
- 2 高校生への呼びかけパンフレット

本件に関するお問い合わせ先

千葉大学高大連携企画室 五十嵐、野曾原、鈴木

E-mail : koudairenkei@office.chiba-u.jp

Tel : 043-290-3526 Fax : 043-290-3962

第4回 高校生理科研究発表会

開催日：平成22年9月25日（土）
会場：千葉大学けやき会館

～ プ ロ グ ラ ム ～

8:30 ～ 9:00 発表会場で受付、ポスター掲示など各自の発表準備

9:00 ～ 11:00 「グループA」のポスター発表

11:00 ～ 11:50 昼食・休憩

11:50 ～ 13:50 「グループB」のポスター発表

13:50 ～ 14:00 表彰式会場へ移動

14:00 ～ 15:30 講 演

講演：「筋電位計測システムの開発とその応用」

西田 惇氏 筑波大学理工学群1年

講演：「研究者は世界で活躍できる！」 丸 幸弘氏 (株)リバネス代表

15:30 ～ 16:40 表彰式・講評・集合写真撮影

16:40 ～ 16:50 休 憩

16:50 ～ 17:00 交流会受付（希望者、会費2,500円）

17:00 ～ 19:00 交流会

主 催	：	千葉大学	
共 催	：	千葉県教育委員会	
後 援	：	文部科学省	千葉市
		千葉市教育委員会	千葉県高等学校長協会
		(独)科学技術振興機構	日本理化学協会
		朝日新聞社千葉総局	

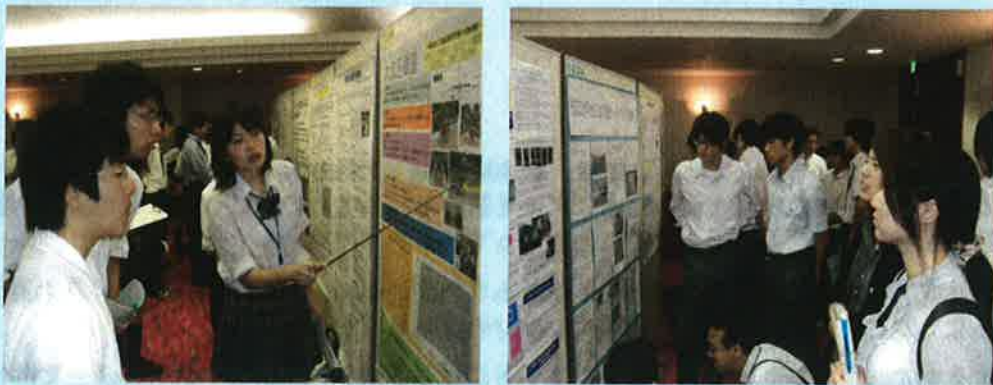
千葉大学から高校生の皆さんへ

第4回高校生理科研究発表会

*** 理科(物理・化学・生物・地学)、数学あるいは情報分野でも ***

平成22年9月25日(土) 午前9時～午後5時(予定)

主催	千葉大学 千葉県教育委員会
後援	文部科学省、千葉市、千葉市教育委員会、科学技術振興機構、 日本理化学協会、朝日新聞社千葉総局
日時	平成22年9月25日(土) 午前9時～午後5時(予定)
会場	千葉大学 けやき会館(西千葉キャンパス)
発表形式	ポスター形式



応募期間 平成22年8月24日(火)から9月2日(木)の期間です。

応募方法 Eメールで

- ①「発表のタイトル・分野(物理・化学・生物・地学・数学・情報の別)」
- ②「高校名と学年・氏名(ふりがな)(グループ研究は全員の氏名(ふりがな))」
*グループ研究の場合は研究代表者に「○」印を付けてください。

- ③「発表要旨」を300字以内にまとめてください。

*これは当日の受付で発表会参加者に配る要旨集に載せます。

- ④こちらからの連絡のため「担当教諭の氏名とパソコンメールアドレス」

- ⑤当日の「緊急連絡先の氏名と携帯電話番号」

を必ず書いて、Eメールの subject 欄に「千葉大学ポスター」と記入のうえ、
koudairenkei@office.chiba-u.jp

に上記応募期間中に送信してください。

こちらからパソコンメールで発表当日の情報を返信します。

千葉大学高大連携企画室 Tel: 043-290-3526

ポスターセッションの準備

ポスターセッションとは

研究の発表は、演壇に立って口頭で発表するやり方とポスターを用いて発表するやり方があります。ポスターセッションは、企画する側からは同時進行的にたくさんの発表をこなせること、聴衆の側からは、興味を持った研究内容をすぐその場で選択して見聞きできること、といった利点があります。

なんといっても、同じ問題意識を持った者同志がその場で議論できるという点が一番大きなメリットです。一言で言えば、ポスターセッションは、発表する側は、大変疲れるが充実感が残る、というところです。

各種学会でも、各分野の国際会議でも、この2種類の発表があるのが普通です。



第1回高校生理科研究発表会ポスターセッションの様子

ポスターの作り方

1研究（グループでも個人でも）につき、約90cm（横）×180cm（縦）のポスターを貼るボードが与えられます。そこに発表の内容を書いたポスターを貼って、あなたのところに来る聴衆と会話しながらの研究発表をします。両隣でも同じことをやっているわけです。

全発表件数がいくつになるかで変更があるかもしれませんが、90～120分程度、入れ替わり立ち替わり、あなたのところに来る聴衆の相手をしなければなりません。

用意するものは、話したい内容を書いたボードに貼るポスター（カラープリンターで作った大きなポスターを1枚だけ張る人も、手書きで作ったA4版のポスターを10枚近く貼る人もいます）だけです。発表しやすいスタイルを自由に選んでよいのですが、何をやったかを聴衆に解らせるために、図やグラフを各種の色を使うなど工夫する必要があります。細かな字数が多いポスター、式だけのポスターは人を引きつけません。1～2メートルくらい離れても見える字や数字で書くようにしましょう。

ポスターには、**研究のタイトル**、**高校名**、**氏名**、を書いて、その後から内容を書きます。「何を狙って」「どうやったか」「その結果、何がわかったか」を説明します。最後に「まとめ」ます。この研究で解ったことを分かり易くまとめるのです。まず、何はともあれ、君なりのポスターを頑張って作成してみましょう。一生懸命さは聴衆に伝わるものです。きっと、一生懸命に準備したものであれば、専門家の共感を得ることでしょう。このポスターセッションで発表するのは、そういうことを経験するまたとないチャンスなのだと考えてください。

グループの研究は、必要ならボードの前に立つ人を時間ごとに替える工夫をしてもかまいません。ボードに張るための画鋲やセロテープなどはこちらで準備しますので、ポスターだけを持って会場に来ればよいのです。大きなポスターを準備した人は、会場に来るまでにしわくちゃにならないよう気をつけてください。